



# 廿日市市教委だより

令和3年  
4月1日  
第1号

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～



市教育委員会では、今年度も学校の魅力あふれる取組や関連情報を「市教委だより」を通して、積極的に情報発信していきます。

本年度もどうぞよろしくお願いたします。

## 生田 徳廉 教育長 令和3年度教職員辞令交付式 訓示



去る3月15日に、廿日市市議会におきまして、選任同意をいただき、本日付で教育長に就任いたしました、生田です。

どうぞよろしくお願いたします。

まず、本日、廿日市市の教職員辞令交付式を迎えられた143名の皆様、今、どのような気持ちでしょうか。

「異動は、最大の研修」と言われます。

今日から、新たな職場で「さあ、がんばるぞ」という前向きな気持ちで臨んでいただきたいと思います。

その思いをもち努力することが、皆さんの力をさらに高めることにつながるものと考えます。

「前年度の自分よりも、少しでも向上したい」「これから出会う子どもたちが毎日楽しく通うことのできる学級をつくりたい」と自らスイッチを入れて、新たな気持ちで臨むことで、自分自身がより成長することができると思います。

ところで、昨年この頃のことを覚えていらっしゃいますか。

新型コロナウイルス感染症の未知の恐怖に、世界中が不安を感じていました。その中で、本日のような着任者が一同に会した辞令交付式は開催できませんでした。

そして、長期の休校を余儀なくされ、各学校では、これまで当たり前に行ってきた行事なども吟味し、精選せざるを得ない状況でした。究極には、「学校の役割は何なのか」ということも考えさせられました。

さて、昨年の3月、全国一斉休校の時期に、新聞にある中学生の投書が掲載されました。

「学校ですることが家で個人でもできるなら、わざわざ通学する意味は何だろう。今、学校生活と大きく違うのは『嫌い』なものに触れなくなった点だ。学校に行けば苦手な人と顔を合わせ、嫌いな教科も学び、…（中略）学校では勉強だけでなく、人との関わりや課題を乗り越える力、生きていくために必要な力も学ぶのだと、休校体験から気付いた。」

（「休校で気付いた 学校に行く意味」、朝日新聞、「声」、令和2年3月20日）

この中学生は、学校という存在について自分なりに考え、一つの答えを見つけ出し、何故自分は学校へ行くのか納得できたようです。

廿日市市の学校で学ぶ子どもたちにも、ものごとの本質をじっくり考える機会をたくさん作っていただき、将来、どんなピンチもチャンスに変えられるような人に育てていきたいところです。

それでは、廿日市の学校で働く先生方と共に大切にしていきたいことを3点お話しします。

1点目は、「子どもたちが自ら進んで学ぶ教育」を進めることです。

小学校に続き、今年度は中学校で新学習指導要領が全面実施となります。この新しい学習指導要領では、子どもたちの主体的な学びを大切にすることとなります。

子どもたちが「進んで学びたい」という授業をつくっていきましょう。

そして、その授業づくりの鍵となるのが「ICTの活用」です。

コロナの影響もあり、この1年で大きく進んだICTの流れは、もう元には戻りません。教育委員会としてもICTを活用した教育を実施するための環境整備を継続して進めます。特に、今年度は中学校のすべての普通教室に電子黒板を整備する予定です。

これからの新しい教育に挑戦していきましょう。

2点目は、「子どもたちに寄り添い 心を育てる教育」を進めることです。

とりわけ、「不登校」への対応をお願いします。

本市の令和元年度、不登校児童生徒の割合は、中学校において国や県の割合を上回っており、小学校では、割合こそ国や県の数値を下回っているものの、年々増加傾向にあり、非常に大きな課題と考えています。

今年度は、四季が丘中学校が広島県の不登校対策指定校となっています。この指定校で取り組む「安心して学べる環境づくり」を他校でも参考にさせていただき、それぞれの学校に応じた不登校対策を進めていただきたいと思います。

3点目は、「教職員が育つ 職場づくり」を進めることです。

まず、職場が明るく楽しくなければ、前向きになれず、成長も期待できません。

教職員同士でも、児童生徒との間でも、「おはよう」「ありがとう」といった明るく元気な挨拶をぜひお願いします。

そして、これまで以上に「働き方改革」を進めていきましょう。

本市では、令和2年12月に改定した「学校における働き方改革取組方針」に基づいて取組を進めており、成果も現れてきていますが、特に、中学校での時間外勤務時間の縮減については改善が求められています。

教育委員会でも、4月から、廿日市市PTA連合会の協力のもと、時間外における学校の電話対応についての制限を行い、「持続可能な部活動の実現を進めるための計画」を策定し、令和5年度からのスタートを目指す「休日の部活動の段階的な地域移行」に向けて準備を進めております。

「廿日市市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則」に示された時間外勤務が月45時間以内、年間360時間以内となる勤務状況の実現を目指し、全ての学校で長時間勤務を縮減し、子どもに向き合う時間を確保することで、一人一人が健康で、やりがいを持ち、質の高い教育を行うことが出来るよう取り組んでまいりましょう。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の下で、活動の制限は続き、不安や不満を感じる時もあるかと思えます。

2ヶ月ほど前から日本でもワクチン接種が開始されたとはいえ、今後も、ウィズコロナの状況がしばらく続くことが予想されます。

各学校では、児童生徒の安全のため、感染症防止対策の徹底は不可欠ですが、知恵を出し合いながら、これからの社会を担う廿日市の子どものために、是非とも新しい時代の新しい学びを作っていきましょう。

廿日市市教育委員会も皆さんと共に全力で取り組んでまいります。

令和3年4月1日

廿日市市教育委員会教育長



生田 徳廉

### 教育委員会事務局連絡先一覧

【教育総務課】 30-9200

【生涯学習課】

- ・生涯学習推進G 30-9203
- ・スポーツ推進G 30-9206
- ・文化財G 30-9205

【学校教育課】

- ・管理主事 30-9208
- ・生徒指導G 30-9223
- ・教育指導G 30-9207
- ・学事G 30-9202
- ・食育推進G 30-9215

本年度も、学校と教育委員会事務局とで緊密な連携を取っていきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

・学校教育指導員 30-9209